

進路指導部より 1, 2 年生の皆さんへ

## 1. 2 年生（新 3 年生）に向けて

先週 2 月 21 日（金）に実施した進路講話では、「令和 3 年度の大学入学共通テストまで後 330 日。これを短いと捉えるのか長いと捉えるのか君達個々に感じ方に差があると思います。高校に入学してから既に 660 日あまりが経過して残り 3 分の 1。これまでの君達の学習に対する取組でどれだけの成果があげられたのか。思い通りの成果があげられている人にとっては十分な時間と感じるかもしれませんが、そうでない人には短いと感じるのかもしれませんが。与えられた時間は同じでも、主体的に取り組むのかそうでないのかで大きな差が出てしまう。君達の中で同じ大学同じ学科に進学する人はほとんどいない。それぞれの進路に合わせて勉強の内容も質・量も違ってきます。与えられた勉強だけで乗り越えられるほど大学受験は甘くはない。自ら何をすべきか考えて取り組むことができる人に進路は開けていくはずですが、現在ちょうど志望校群の検討と志望理由書の作成をしているところだと思えますが、その目標を達成するためにどうすべきかをよく考え、受験生としての自覚をもって勉強に取り組んで欲しい。」と話したかと思いますが、その後君達の意識、行動に変化はありましたか。3 月は特に卒業式や高校入試の関係で生徒休業が続きます、加えて新型コロナウイルスの感染症対策の関係でこれから年度内休校の措置が取られた場合、授業が思うように進まない、受験に間に合うのかという不安をもつ生徒もいるかと思えます。しかし、苦しい時ほどその人の真価が問われる時で、その逆境をはねのけて努力ができるのか、受験を乗り越えられるか否か、今試されているときだと考えて勉強の歩みを止めることなく進めて欲しい。そういう人こそ将来社会においても活躍が出来る人であると私は信じています。また、同じ進路講話の中で「今年度のセンター試験では主要科目の国数英で全国平均点が下がり、他校では大きく点数を落としている学校が多い中で、3 年生は大変検討して立派であった。特に数学、英語で大きく崩れなかったことが良い結果に繋がった要因である。」、「むやみに科目数を減らすことは自分の進路を閉ざすことになりますので絶対しないで下さい。これまでのような自分は国公立志望だから、私立大志望だからという狭い考え方で共通テストを捉えるのではなく、国公立、私立両方を視野に入れて勉強に取り組まなければならない。まずは共通テストで点数をとらなければ選択の幅が極端に狭まりますので、それに向けた勉強を第一に考えること。つまり毎日の授業を大切に、家では不得意科目の克服を中心に勉強に取り組む、不得意科目の減点をできるだけ少なくすることが最も大切です。そのことはこれまでのセンター試験でも言ってきたことですが、共通テストでは不得意科目での失敗がこれまで以上に大きくなる可能性が高い。特に英語、数学が苦手という人はその対策に早めに取り組んで欲しい。」とも話をしました。国数英で苦手科目や分野がある人は、今の状況を好機と捉え、家庭でしっかりと国数英を復習すること。更に専門とする理科、地歴・公民の勉強にも取り組んで下さい。当然ですが、不要の外出は避けて、授業日の時間割同様に家庭でも学習時間を設けて、1 日 10 時間以上の勉強をすること。君達の検討を期待しています。

## 2. 1 年生（新 2 年生）に向けて

上文を読んで、1 年生の諸君はどう考えますか。後共通テストまで 690 日あまり。最も大学受験で大切なのは、1, 2 年生で学修状況を改善し、特に国数英の学力を上げていくことです。このことは既に話をしてきていることですが。君達が受験する共通テストでは国数英の出来、不出来の差が更に大きくなると予想されます。1 年間を振り返り、それぞれに反省

があると思いますが。やり方は違ってても常に授業を大切に、予習・復習の学習のサイクルを確立させることが必要であることは全員同じです。2年生同様この時期を好機と捉え、学力を大きく伸ばすチャンスを逃さずに、家庭での学習にしっかり取り組んで下さい。2年生同様、不要の外出を避けて、家庭で1日10時間以上の勉強に挑戦してみてください。